

# 和具



わかめとさわらの町  
人口：約4000人  
鳥羽から市営定期船で約20分

- ① 旅館
- ② 飲食店
- ③ トイレ
- ④ 居酒屋・スナック

50m  
100m

至桃取  
⑤ 宝屋

⑥ 花

⑦ 中村屋

中村医院

山公園

山

山

山

山

山

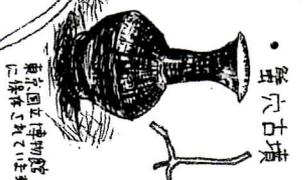
山

山

山

## 長頸壺

島には多くの古墳や見場があり、古くから発展していたことがわかります。蟹穴古墳から出土された長頸壺は、7世紀頃に作られたとされ、造形の美しさで保存状態の良さから、国の重要文化財に指定されています。



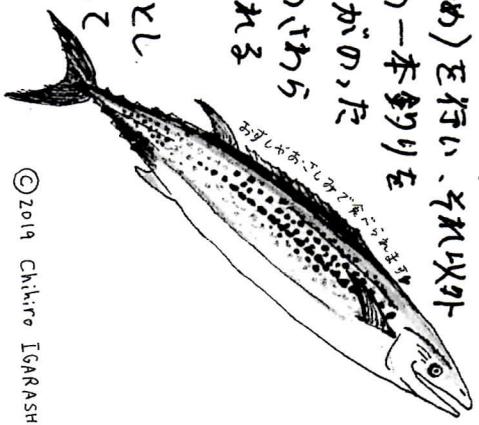
蟹穴古墳  
長頸壺は、7世紀頃に作られたとされ、造形の美しさで保存状態の良さから、国の重要文化財に指定されています。

## しめ縄

一般的にお正月に飾られるしめ縄ですが、答志島を宮む伊勢志摩地域では、一年中玄關に飾る風習があります。中央には神話に由来する「蘇民将来子孫家門」と書かれた札がついています。



和果もしくは和果浦と呼ばれるこの地区では、わかめ養殖とさわらの一本釣りがかが工(塩蔵わかめ)を行い、それ以外の時期はさわらの一本釣りを行います。特に脂がのびた秋から冬にかけてのさわらは全身トロと言われるほど美味です。  
答志島トドサカサとしてブランド化もされています。



九鬼嘉隆は16世紀に治理した戦国武将で、鳥羽城の初代城主です。非常に力のある水軍を率いて、朝鮮へも出兵しました。関ヶ原の戦いで組していた西軍が敗北すると、答志島へ落ち延び、そこでいくつかの史跡があり、嘉隆の血のついた刃を洗うと池の水が赤く染まったと伝えられています。血洗いの池もその一つです。



答志島の基本データ  
面積：6.98km<sup>2</sup>  
人口：2041人(2019年2月)  
半数以上の職業は専業